

離で 3600mあり空中用の装置の適用について明るい見通しを与えた。また 大涌谷の実験で得られたように入力を調節することによって温度差の大きいところだけを抽出記録することができるので 広い異常域中 温度の高い部分—ここでは湧泉の出口—が判明する。ただボーリング孔からの噴気の場合 106°Cと管口では非常に高温であるが 映像には弱い異常としてしかあらわれない。以上 地温異常の相対的な強弱とその広がりを目に見える形で表現できることは いままでの方法では不可能なことである。わが国が世界でも有数の火山国であるため 経済 産業上ばかりでなく 防災 学問上この新しい方法が適用され効力を発揮する場合は非常に多く存在するといえよう。その適用には大きく分けて

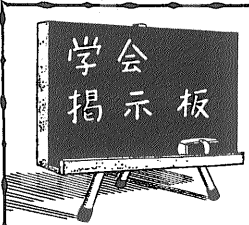
1. 地上の固定点に設置して狭い対象を定期的に観測し その時間的な変化を調べること。
2. 空中から広い範囲を走査して 温度異常の相対的な強弱とその平面的な広がりをマッピングすること

の2つが考えられる。

地上の固定点に設置する装置は地温ばかりでなく い

ろいろな対象に応用されるであろうが 地質学 地球物理学の分野では その応用に限界がある。こと大地に関する問題である以上 測地学的な位置づけが必要であるが 水平あるいは斜め方向からの映像の正しい平面位置を地図上にプロットし 映像の詳細な解析をおこなうことは非常に困難である。この点空中からの映像が望ましい。地上用の装置を 野外で夜間に使用する場合 装置を水平に設置し これを基準として水平方向の回転角度ならびに 俯仰角をコントロールできる装置が必要である。

今回の二度にわたる実験で 近い将来開発される地質学的 地球物理学的目的のための赤外線装置についていくつかの問題点が明らかにされた。厳しい自然条件と複雑な 微気象 地形 植性 土性 岩石物性などの要素から内因的な情報を明確にし 解釈を行なうまでにはまだ多くの問題点がある。しかし 最近 アメリカで 鉱化帯の酸化熱を対象に 探鉱調査に応用した例が報告されており 積極的な開発と応用化が進められているようである。 (筆者は応用地質部)



・日本地下水学会

1. 昭和41年5月20日
2. 昭和41年度総会および春季講演会
3. 川崎市久本135 地質調査所会議室
4. 日本地下水学会

5. 川崎市久本135 地質調査所応用地質部水資源課
日本地下水学会事務局 (Tel 044-83-3171)

・地下水技術協会

1. 昭和41年5月13日~14日
2. 講演会ならびに研修会
3. 東京都新宿区市ヶ谷船河原町11
外濠前「家の光会館」7階講堂
4. 地下水技術協会
5. 東京都千代田区神田錦町1-23 登坂ビル
社団法人 地下水技術協会 (Tel 03-291-0388)

・日本温泉科学会

1. 昭和41年7月8日(金)~7月11日(月)
2. 第19回日本温泉科学会大会
3. 別府市
4. 日本温泉科学会
5. 東京都世田谷区深沢町1の950
東京都立大学理学部無機化学教室
日本温泉科学会 野口 喜三雄 (Tel 03-717-0111)

・日本応用地質学会

1. 昭和41年7月4日
2. 講演会 中性子水分計の試用に関する話題
地調 渡辺和衛他
国鉄 頸城トンネルに関する話題 国鉄 池田

4. 日本応用地質学会

5. (事務)東京都中央区銀座東6-1 (Tel 03-542-3072)
国立防災科学技術センター内 日本応用地質学会
(行事) 川崎市久本135 地質調査所応用地質部
環境地質課 安藤 武 (Tel 044-83-3171)

・日本地学教育学会

- A. 1. 昭和41年5月28日(土)
2. 講演 欧米の自然と地学教育
東京都主事 鈴木 康司
3. 東京都立教育研究所
4. 日本地学教育学会
5. 東京都立 武蔵丘高等学校 加藤 定男
(Tel 03-992-2308)
- B. 1. 昭和41年7月25日~8月24日(31日間)
2. 海外地学巡検(団長 西尾敏夫)
3. ヨーロッパおよびアメリカ
4. 日本地学教育学会
5. 日本海外旅行(株) 五艘和雄
(Tel 03-265-5921)
- C. 1. 昭和41年11月26日~27日
2. 第20回 全国大会(大会委教長 米山芳成)
3. 東京都立教育研究所(予定)
4. 日本地学教育学会 5. 東京都立 立川高等学校 高田 七五三雄 (Tel 04252-8195)

[注]

- | | | |
|----------|--------|-------|
| 1: 開催年月日 | 2: 会合名 | 3: 会場 |
| 4: 主催者 | 5: 連絡先 | |

なお 掲載順位は 原稿到着順